

組合員数111,438人
支部数 940
読者数 68,202人
(5日現在)
(連絡先) ☎03(5978)2751 FAX03(5978)2777
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。



第375号 2021年3月15日(月)
(通巻第574号)
全日本年金者組合中央本部
〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人 金子 民夫 月刊1部100円(組合費を含む)
昭和57年6月30日第三種郵便物認可



医療費 止めろ
窓口負担2倍化
78万余の署名提出
2月18日、全日本年金者組合など4団体共催で「75歳以上医療費窓口負担2割化反対」緊急集会が衆議院議員会館で開かれ4万5385筆(累計78万2563筆)の署名を提出した。(関連記事2面)

2月18日、全日本年金者組合など4団体共催で「75歳以上医療費窓口負担2割化反対」緊急集会が衆議院議員会館で開かれ4万5385筆(累計78万2563筆)の署名を提出した。(関連記事2面)

働く高齢者たち

かざるをえない

東京都内で一人暮らしの元塗装業のカズさん(80歳)は月5万8000円の国民年金と、建設現場で週2日ほど軽作業をして、月額平均約8万円の収入で生計を立てていました。ところが、昨年春から新型コロナウイルスで仕事が半減し、「年金とあわせても収入は年間100万円にならなかった」といいます。

カズさんは「職人だから退職金はないし、国民年金では生活できないこともわかってるから、自分の稼ぎで住宅ローンを繰り上げて返し、女房の店の収入で生活し、預金に励んだ」のです。

東京・江東区で娘さんと二人暮らしの岩城恒子さん(79)は、建交労の組合員で、東京高齢者就業福祉事業団に所属し、月に12日ほど公園清掃の仕事をしています。



体の続く限り働きたい
清掃の仕事で年金補って
東京・江東区 岩城恒子さん

厚生年金の受給額は「13万円(1回)ほど、そこから介護保険、健康保険、生命保険を支払っています。住まいは賃貸で月10万円です。時給1050円、5時間労働

「血圧と心臓肥大の薬は飲んでるけど、今のところ体は大丈夫」という岩城さんですが、「だんだん体がきかなくなっている」と実感。「私のようにいろいろ事情がある加入期間が短い高齢者は大勢いると思います。年金を削るのではなく、もう少し充実させてほしい」は切実な望みです。

建交労東京都本部事業団・高齢者部長の赤羽目寛さんは言います。「事業団で働く仲間のアンケートでも、年金受給者(厚生55%、国民25%)の57%は月10万円以下です。年金者組合などとともに年金、社会保障拡充の運動を進めながら、働かなければ生活できない高齢者の働く場、仕事創出にも全力をあげています。働きたい人は遠慮せず相談してください」

もう働ける場がない

貯金たっぴ家を売るしか...

元塗装業のカズさん

ところが、娘二人の結婚を喜んだ直後、奥さんが60歳前に心臓病で急死。持病のある義母との二人暮らしを6年間続けました。義母の通院に付きかなくなると75歳で職

き添いや食事の世話もあって、塗装の自営はできなくなると、「先輩の息子が頼んで職人として雇ってもらったが、無理が苦しいね」

貯金がつきたら家を売りたい。理由はシゴキ、いじめ。野球部に限らず大学体育会に暴力が横行している。前歴あるOBを監督に招き、また暴行・暴言事件を引き起こされ、あわてて解任した大学もある。

▼甲子園で大活躍して有名大学に進学したものの、すぐに退学してしまう選手が少なくない。理由はシゴキ、いじめ。野球部に限らず大学体育会に暴力が横行している。前歴あるOBを監督に招き、また暴行・暴言事件を引き起こされ、あわてて解任した大学もある。

機関紙コンクール 第32回開催について

2021年第32回「年金者しんぶん」機関紙コンクールをつぎの要項により行います。全都道府県本部および支部からの積極的な応募をお願いします。

◇対象紙 年間を通じて定期発行している都道府県本部および支部と各女性部の機関紙誌で3月と4月に発行したもの。

◇締め切り 5月10日(月) 中央本部必着。

◇応募方法 各号とも10部、封書の表に「機関紙コンクール参加」と朱書きを。

◇選考基準 中央本部の機関紙コンクール「審査基準」により、最優秀賞、優秀賞、入賞、努力賞を選出する。

◇選考委員会 中央本部役員、編集委員から10人程度と日本機関紙協会の代表で構成。

◇発表・表彰 6月9・10両日開催の第25回大会で発表・表彰。最優秀賞および優秀賞は副賞を推進する。

風雪

▽3月19日から選抜高校野球が始まる。今はプロ志望の留学生主力のチームが多いが、昔は地元出身者がほとんどで、メンバーの名前で地域がわかった。望月選手なら静岡県、黒木選手なら宮崎県というように。

▼甲子園で大活躍して有名大学に進学したものの、すぐに退学してしまう選手が少なくない。理由はシゴキ、いじめ。野球部に限らず大学体育会に暴力が横行している。前歴あるOBを監督に招き、また暴行・暴言事件を引き起こされ、あわてて解任した大学もある。

▼体育会の絶対服従は学校の問題ではない。「何事も先輩・上司の指示通り」の気風を職場に蔓延させる基盤となっているからだ。そこから発せられる「空気」が差別を生み、助長させていく。

▼スポンサー企業、競技団体役員、プロ選手の手金儲けの場であるオリンピックポランテアより、健全にスポーツに励む環境を整える活動こそ大事だ。